

障害者の生涯学習に関する動向について

■インクルーシブな学び東京コンソーシアムの設立について

東京都教育委員会では、多様な人が共に支え合う共生社会の実現に向けた取組として、関係機関や企業、NPO等の団体と連携・協働し、障害者の生涯学習支援体制の構築を進めている。「インクルーシブな学び東京コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）」が設立された令和6年2月15日に東京都により報道発表された。

1 コンソーシアム設立の目的

東京都教育委員会が企業やNPO等の交流、情報交換の場を提供することで、障害のある人々の生涯にわたる学びを支援するとともに、障害のある人もない人も共に学べる環境づくりに向けた取組を展開し、互いの個性を認め合い、多様性を尊重しながら支えあえるインクルーシブシティの実現を目指す。

2 参加団体等

参加予定団体：インクルーシブな学びに関する事業を実施している団体・機関

3 都における今後の展開

コンソーシアムを構成する企業、NPO等が有する専門性を生かして、高校生等を対象とした体験プログラムや学校卒業後の障害者を対象とした生涯学習講座等を都が実施し、インクルーシブな学びを展開する予定

【概要】



■関連する取組例



障害の有無にかかわらず、共に学び生きる共生社会の実現を目指し、NPO 法人ピープルデザイン研究所と文部科学省の共催で、平成 30 年より実施しているフォーラムイベント。令和 3 年からは弊社主催、文部科学省、渋谷区を共催で、タイトルを「超福祉の学校@SHIBUYA」としてリニューアル。従来の障害福祉や教育の枠に収まらない多様な方々がシンポジウムに登壇。全国各地の具体的なアクション、生涯学習や教育に関する最新事例を、渋谷からオフ&オンラインで全国に発信しています。



インクルーシブダンスを通して、非言語コミュニケーションの力を体感してみませんか？年齢や性別、身体の大小や障害の程度・有無といった違いにかかわらず、全ての「みんな」が自分の身体で自由な創造と表現をするワークショップ
(出典：ティアラこうとう HP)